

I 事業実施状況

【I ジュエリーデザインの公募に関する募集、審査、授賞対象の発表、表彰に係る事業（公益目的事業1）】

1964年創立当初から概ね隔年で31回に亘り開催してきた公募展を発展させ、ジュエリーデザインのより高度な振興を図る。ジュエリーを素材価値だけでなく造形分野として、広く実作品を公募し、審査・表彰することにより日本のジュエリーデザインのレベルアップを図り、国際的な地位確立と次世代の人材育成を目的としている。

2022年度は、2021年度に行なった「第32回公募2022日本ジュエリー展」の募集と審査から、選ばれた作品を表彰し、入賞・入選作品の展覧会を通して本事業及びジュエリーデザインの普及啓発を図る。

(1) 審査発表・表彰

- ・協会ホームページへ掲載。審査結果をホームページへ4月より順次掲載し、大賞作品をはじめ入賞作品14名の作品画像を公開した。
- ・図録1200部制作
後援団体、協賛、広告社、名誉会員、功労者、学校、企業、校内図書室、美術館、ギャラリー、業界団体、自治体デザイン関係へ寄贈
- ・授賞式 2022年6月8日（水）午後4:00～ 展覧会場内にて開催
駐日コロンビア大使が臨席し、大賞受賞への返礼と文化交流に関してのスピーチがあった。
大賞1名/優秀賞2名/under26部門賞1名/海外部門賞1名/招待審査員賞2名/
特別賞日本ジュエリー協会賞1名/奨励賞6名 計14名が受賞した。

(2) 展示

「第32回公募2022日本ジュエリー展」の受賞作品及び入選作品の展示

- ・会期 2022年6月8日（水）～6月13日（月） 会場 東京都美術館
- ・広報 ポスター500部、DMはがき15,000部を作成

(3) 主催、後援等

- ・主催 公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会
- ・後援 経済産業省／文化庁／公益財団法人日本デザイン振興会／一般社団法人日本ジュエリー協会／
公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会／公益社団法人日本インテリアデザイナー協会／
公益社団法人日本グラフィックデザイン協会／公益社団法人日本サインデザイン協会／
一般社団法人日本空間デザイン協会／公益社団法人日本パッケージデザイン協会／
一般社団法人総合デザイナー協会／日本経済新聞社
- ・協賛 一般社団法人日本ジュエリー協会／栄光時計株式会社／株式会社ナガホリ／
東京真珠株式会社／有限会社トーヨー精工

【II ジュエリーデザインに係る調査研究及び人材育成に関する事業（公益目的事業2）】

一般初心者へは、デザインとものづくりの体験講座を開催しジュエリーへの関心を高める。中級者へは、ジュエリーの歴史・文化に関する専門家による講演会を開催し、知識を共有した。

国際的課題である知的財産権に関しては、ジュエリーデザインの分野での産業財産権及び著作権等に係る諸問題を調査研究し、D8と連携し、デザイン価値の重要性について検討をすすめた。

(1) 調査研究

- ・古いままの「ジュエリーデザイン110番」の改定にむけて現在に即した内容の見直しと修正を加え、素案を作成した。
- ・日本デザイン団体協議会（D-8）／デザイン保護研究会への共同参加事業として、経済産業省によるD-8加盟団体所属のデザイナーに対するアンケート調査活動を行った。

(2) セミナー及びシンポジウム

調査研究の成果を、テーマ毎に広く一般、ジュエリーデザイン関係者、新人デザイナーの理解を深める講座及

び特殊な専門知識についてセミナーを開催した。

①JJDA 講座「戦後ジュエリーデザイン史の研究発表セミナー1」1950年代～1980年代
会期 2022年7月4日 会場 Zoomにて実施 講師 菅沼知行氏、高橋まき子氏（共にJJDA正会員）
参加者 52名

②JJDA 講座「いしかわまり氏オンラインセミナー&工房見学」（近畿地区）
会期 2022年11月頃 会場 Zoomにて実施 講師 いしかわまり氏（ドイツ在住）
参加者 34名

(3) 実地体験

初歩的なジュエリーを実際に制作することにより、デザインや制作に興味・理解を深め、将来のジュエリーデザイナーを育む機会を設けた。また、ジュエリー制作において新たな表現方法を会得する目的のセミナーを企画開催し、さらなる知識と技術の向上を図った。

①JJDA 講座「テクニカルセミナー『箔を使った表現方法』」（中部地区）
会期 2022年9月2日（金）13:30～ 会場 Zoomにて実施 講師 小田伊織氏（静岡文化芸術大学）
参加者 33名

②JJDA 講座「卒園コサージュ作り体験」講習会（西日本地区）
会期 2023年1月28日（土）会場 みのり保育園（熊本県荒尾市） 講師 JJDA正会員（西日本地区）
参加者 23名

(4) 講師派遣の実施

①「第16回糸魚川翡翠ジュエリー・アクセサリデザイン画コンテスト」
主催：糸魚川翡翠デザイン画コンテスト実行委員会、（公社）糸魚川法人会糸魚川商工会議所）への
審査協力を行なった。
審査 2022年12月14日（水） 柏倉主和、青木敦子

【Ⅲ 国内外の優秀なジュエリーデザインを展示及びジュエリーデザイン情報の発信をすることにより、人々の生活文化の向上に寄与する事業（公益目的事業3）】

国内各都市の展示会場で最新のジュエリーデザインの実作品を展示することにより、人々の生活文化の向上を図った。また、日本のジュエリーデザインを世界に向けてさらに広め充実させるため、海外情報の収集とJJDAからの情報を発信交流し、国際相互理解の促進に努めた。

機関誌の発行及びホームページによりジュエリーデザインに関する情報を、一般に広める活動を行った。

(1) ジュエリーデザインの展示等による普及・啓発

①2023年度開催にむけて、JJDAに所属する正会員、名誉会員等による展覧会「2023日本のジュエリーアート」の企画を検討した。

②「東急展2022」

宝飾からアートジュエリーまでアーティストとコミュニケーションを楽しめる展示販売イベントを開催した。
会期 2022年9月8（木）～14（水） 場所 渋谷東急本店（東京都渋谷区）
出品者 32名

(2) ジュエリーデザインに関する海外交流及び発信

海外交流事業の拡大を見据え、諸機関との関係を構築した。また、オンラインセミナー開催により、日本と海外をつなぎ、ジュエリーデザインに関する情報発信と交流を行なった。

①「ペトラ・ヘルシャー氏によるZoomセミナー」

会期 2023年2月28日（火） 場所 Zoomにて実施 講師 ペトラ・ヘルシャー氏（ドイツミュンヘンのピナコテーク・デア・モデルネ ジュエリー部門キュレーター）
参加者 47名

(3) 情報発信

機関誌及びホームページ、SNSによりジュエリーデザインに関する情報を、広く一般へ提供した。

機関誌では、事業の詳細な報告を。ホームページではタイムリーに各事業のインフォメーションを発信した。

①機関誌「JJDA2023 No.57」A4版 約32頁 2023年1月発行配信

冒頭に公募展の報告をし、各事業の活動報告を掲載。会員及び各団体へ配布し、展示会会場でも頒布した。

②JJDA ホームページの運営を充実化 <https://www.jjda.or.jp>

各事業の活動に沿った情報を、随時発信した。広報担当者によるSNSへの情報掲載もタイムリーに行った。

③ジャパングジュエリーフェア 2022にてJJDA 広報ブースを出展し協会事業の紹介を行った。

会期 2022年8月31日(水)～9月2日(金) 東京ビッグサイト 東5.6ホール

公募展受賞作品をケースに展示、来場者獲得に努め、機関誌・図録・カタログを用いて協会事業のPRを行なった。

④プレスリリースによるメディアへの働きかけを継続的に行った。

⑤ジュエリーデザインに関するデータベースの整理仕訳と更新保全を行った。

【IV その他事業】

(1) 会員相互の交流事業

会員相互の交流を活発化し、創作技法の伝承と情報交換を行った。

①活動促進 「工具の譲渡会」

会期 2022年10月5日 会場 Zoom 参加者 16名

(2) 会報「FROM JJDA」7回・「メルマガ from JJDA」36回 事務局編集・発行

各委員会、事務局よりの事業準備及び報告情報を会員へ速やかに伝えた。

(3) 内外ジュエリーデザインに関する関連団体との連絡及び協調

①日本デザイン団体協議会 (D-8) への参加

・D-8 運営会議 (全て Zoom 開催)

2022年4月15日 西澤副会長/ 2022年7月19日 柏倉会長、青木専務理事/

2022年11月15日 柏倉会長、青木専務理事/2023年1月17日 岩間副会長、西澤副会長/

2023年3月22日 青木専務理事、新矢 (代理)

・D-8 デザイン保護研究会 (Zoom 開催)

2022年5月26日 黒沢理事、西澤副会長/ 2022年7月7日 黒沢理事/ 2022年7月28日 黒沢理事/

2022年9月29日 黒沢理事/ 2022年11月24日 黒沢理事/

・D-8 広報委員会 (Zoom 開催)

2022年11月21日 海野理事、小宮監事

・D-8 ジャパングデザインミュージアム設立研究委員会

<定例会> (Zoom 開催、7/20, 10/12のみハイブリッド開催)

2022年4月20日 菅沼委員、管理事、高橋まき子委員/ 2022年5月18日 西澤副会長、管理事/

2022年6月15日 菅沼委員、管理事/ 2022年7月20日 菅沼委員、管理事/

2022年8月10日 西澤副会長、菅沼委員、管理事/ 2022年10月12日 管理事/

2022年11月25日 管理事/ 2023年2月15日 西澤副会長、菅沼委員、管理事/

2023年3月15日 菅沼委員、管理事/

<分科会> (ハイブリッド開催)

2022年6月8日 菅沼委員

<豊島区イベント・街中まるごと デザインミュージアム 池袋関連>

(a) JID レクチャーコシノジュンコ氏&佐藤卓氏講演会 自由学園明日館 講堂

2022年11月1日 高橋まき子委員、西澤副会長、菅沼委員、青木専務理事、村橋委員

(b) 懇親会 自由学園明日館 食堂

2022年11月1日 高橋まき子委員、西澤副会長、菅沼知行

(c) 講演会 リビエラ東京

2022年11月3日 菅沼委員、管理事

(d) パネルディスカッション サンシャインシティ ソラリウム

2022年11月3日 菅沼委員、管理事、青木敦子専務理事パネリストとして登壇

(e) ジュエリーワークショップ『デザインしよう！アートクレイでつくる銀のペンダント』

講師：竹花美穂氏（JJDA 会員）、坂入ふみ子氏（JJDA 会員）

2022年11月5日 菅沼委員、管理事、高橋なほ子委員、

2022年11月6日管理事、高橋まき子委員、

<日本のデザインを語るデザインミュージアムの有り方を考えるカンファレンス関連>

国立新美術館 講堂

2023年3月17日 菅沼委員、管理事

②国内外の諸団体の事業への後援・協賛・協力

◇後援事業

<開催日>	<事業名>	<主催>
<u>2022年</u>		
4/5~6/12	ジャパン・ハウス・サンパウロ展	ジャパン・ハウス・サンパウロ（外務省）
5/10~6/30	第一回「日本パッケージデザイン学生賞」	（公社）日本パッケージデザイン協会
5/21~5/29	World Interiors Week 2022 in Japan	（公社）日本インテリアデザイナー協会
8/31~9/2	ジャパンジュエリーフェア 2022	（一社）日本ジュエリー協会
9/1~11/30	第16回糸魚川翡翠ジュエリー・アクセサリデザイン画コンテスト	糸魚川翡翠デザイン画コンテスト実行委員会
9/15~9/16	第64回大阪インターナショナル・ギフト・ショー2022	（株）ビジネスガイド社
10/16~10/22	第55回日本七宝作家協会国際展	（公社）日本七宝作家協会
11/4	第24回福岡デザインアワード	福岡県産業デザイン協議会、福岡県
12/1~1/23	高校生デザインコンテスト 2023	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ
<u>2023年</u>		
3/8~3/9	第4回京都インターナショナル・ギフト・ショー2023	（株）ビジネスガイド社
3/17~3/31	第2回日本パッケージデザイン学生賞	（公社）日本パッケージデザイン協会
4/12~4/14	山梨ジュエリーフェア 2023	インフォママーケッツジャパン（株）
6/14~6/16	第31回インテリアライフスタイル	メッセフランクフルト ジャパン（株）
8/30~9/1	ジャパンジュエリーフェア 2023	（一社）日本ジュエリー協会
11/18~12/24	2023 伊丹国際クラフト展 主題「ジュエリー」	伊丹ミュージアム運営共同事業体

◇協賛・協力事業

<u>2022年</u>		
9/7~9/9	第94回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋 2022	（株）ビジネスガイド社
12/15~12/24	ライティングオブジェ 2022	ライティングオブジェ・制作委員会
<u>2023年</u>		
2/15~2/17	第95回東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2023	（株）ビジネスガイド社
2/8~2/12	ビジネスザイン EXPO 2023 Vol. 2	（一社）中部広告制作協会
9/6~9/8	第96回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋 2023	（株）ビジネスガイド社
9/6~9/8	” 第14回 LIFE×DESIGN	”
9/27~10/1	第18回銀粘土でつくるシルバーアクセサリコンテスト国際展	（一社）生涯学習認定機構アートクレイ倶楽部

③デザイン関連団体及びジュエリー関連団体との交流

12月14日 糸魚川翡翠デザイン画コンテスト実行委員会、

第16回糸魚川翡翠ジュエリー・アクセサリデザイン画コンテスト審査会

II 会議開催状況

【V 管理等】

(1) 会議開催

- ①総会開催 2022年5月31日
- ②臨時総会開催 2022年12月19日
- ③部会長会議開催 2023年1月18日
- 〃 2023年2月3日

(2) 諸規定の整備

(3) 会員情報データベースの整備

(4) 会員章碑の作成

(5) 協賛店の整備 現協賛店へ継続協力依頼の準備

(6) 正会員・賛助会員入会促進の検討

(7) 一般への情報提供サービスの検討

(8) 予算書・決算書作成

(9) 素材表記の検討・精査

(10) 会費納入の徹底

- ・会費の口座引落による分割納入手続きを継続導入した。

		期日	会場	出席数
1. 総会	第11回定時総会	2022年5月31日	JJDA事務局会議室	183名 (本人出席5名、委任状出席178名)
	第2回臨時総会	2022年12月19日	Zoom会議(ウェビナー形式)	202名 (本人出席5名 委任状出席197名)
2. 理事会	第65回定例理事会	2022年4月26日	Zoom会議	理事14名、監事3名
	第66回定例理事会	2022年7月26日	Zoom会議	理事14名、監事3名
	第67回臨時理事会	2022年9月20日	Zoom会議	理事15名、監事2名
	第68回定例理事会	2022年10月18日	Zoom会議	理事14名、監事3名
	第69回臨時理事会	2022年11月14日	Zoom会議	理事12名、監事2名
	第70回定例理事会	2023年1月23日	ブーケ21 研修室2	理事14名、監事3名
	第71回臨時理事会	2023年2月27日	Zoom会議	理事15名、監事2名
	第72回臨時理事会	2023年3月14日	Zoom会議	理事12名、監事3名
	第73回臨時理事会	2023年3月23日	Zoom会議	理事12名、監事1名
	第74回定例理事会	2023年4月12日	Zoom会議	理事15名、監事3名
(2022年は年7回)				
3. 部会長会議	第1回部会長会議	2023年1月16日	Zoom会議	
	第2回部会長会議	2023年2月3日	Zoom会議	

4. 委員会・部会

公募展部会 5/12、2/17

調査研究・創作保全部会 6/2、6/16、6/29、12/6、1/31

展覧会部会 7/5、8/23、12/9、1/17、3/6、（対面1回）

広報部会 10/14、2/1

出版部会 5/18、7/8、9/16、10/12、10/28、12/1、12/14、12/16、（対面6回）

海外交流部会 3/24

活動促進部会 7/27、9/21、10/5、2/8、（対面1回）

総務財務部会 4/19、5/23、12/16、2/7、2/16、3/9

東日本地区 8/18、2/8

近畿地区 10/6、2/7

JDM委員会 5/2、8/8、8/23、10/20

東急展委員会 4/4、5/10、5/19、6/15、7/6、7/20、7/25、8/3、8/22、9/5、9/6、9/15、9/30、（対面5回）

選挙管理委員会 12/13、1/25、3/28、4/7、（対面2回）

会 員 別	2022年4月1日	2022年4月1日～2023年3月31日		2023年3月31日
		入 会	退 会	
正 会 員	272	4	17	259
賛 助 会 員	22	1	1	22
名 誉 会 員	7	0	0	7
合 計	301	5	18	288

Ⅲ 2022年度会員異動状況

【入 会】（2022年度入会承認）

◇正会員

青沼真貴子、河合謙太郎、清水裕子、横田純一

◇賛助会員

有限会社フィオレ

【退 会】

◇正会員

青柳典子、天野寿美枝、飯島恵里、伊藤達美、工藤千絵、讚井智恵美、鈴木広樹、高草木明美、竹樋協子
谷口堅一郎、坪井圭子、中川るみ子、西尾享子、坂東公美子、真々田誠次、村岡由美子、靱山啓三

◇賛助会員

株式会社クニタケ

【物故】

なし

IV 会員数推移

(社団法人化以降)

年度末	正会員	賛助会員
昭和 63 年	252	24
平成元年	294	44
平成 2 年	300	56
平成 3 年	315	56
平成 4 年	320	54
平成 5 年	332	54
平成 6 年	343	52
平成 7 年	363	50
平成 8 年	382	47
平成 9 年	402	43
平成 10 年	408	41
平成 11 年	417	41
平成 12 年	434	39
平成 13 年	453	41
平成 14 年	459	44
平成 15 年	475	44
平成 16 年	485	42
平成 17 年	503	42

平成 16 年度より名誉会員含む

年度末	正会員・ 名誉会員	賛助会員
平成 18 年	505	42
平成 19 年	513	43
平成 20 年	519	39
平成 21 年	501	35
平成 22 年	488	31
平成 23 年	445	27
平成 24 年	439	26
平成 25 年	432	29
平成 26 年	427	31
平成 27 年	406	27
平成 28 年	384	26
平成 29 年	356	26
平成 30 年	333	24
2019 年	311	22
2020 年	291	20
2021 年	278	22
2022 年	266	22



2022 年度事業報告には、附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

(2023 年 3 月 31 日現在)